

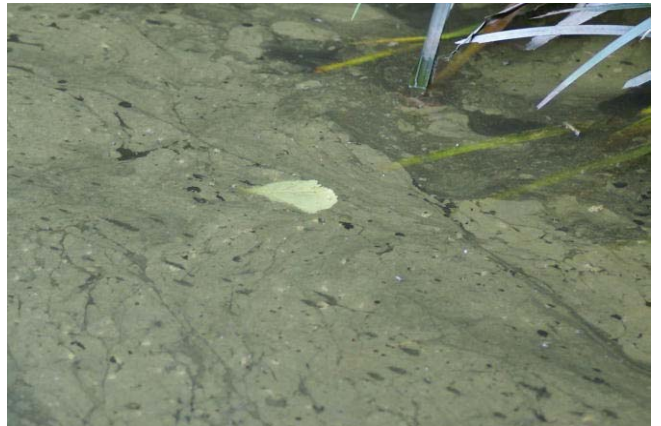
牛久：学校周辺に見る自然

第21号 稲敷市(牛久市との境界付近)

2010年6月20日発行

<稲敷市でヒカリモ発見！>

6月上旬のある日、通勤途中の小さな池にほこりのような物が浮いているのが目につきました。気にはなっていない仕事があるのでそのままにしていたのですが、やはり気になって、11日、早めに仕事が終わった帰りに、車を降りて確認してみました。場所は隣の稲敷市ですが、牛久市との境界近くです。なぜそんな「ほこり」が気になったかという、いろいろな理由からこの池には何かいそうだと以前から思っていたためと、1999年の夏に千葉県柏市で発見したヒカリモ(柏市.2000.『柏の自然を歩こう』p13, 柏市.2000.『柏市自然環境調査報告書』p44)に遠目には感じが似ていたためです。



そして、ダメで元々と思いながら近づいてみてビックリ。11年前の感動の光景が、目の前によみがえったのです。上左の写真のように光の入る側(開けた南岸)からのぞくと、水面に張った膜のような物が黄色に輝いて見えます。ところが同じものを反対側(斜面林側の岸)からのぞいても、右の写真のようにほこりのような薄い膜が張っているだけにしか見えませんでした。



さらには、上の写真は2枚とも同じものを写していますが、左はフラッシュをたいて、右は自然光のみで撮りました。フラッシュをたいた方が輝きが鮮やかなことが分かりますね。

あとで失敗したなと思ったのは、このヒカリモを含んだ水を採取しなかったことです。ちょうど採水ビンを持っていなかったのも、月曜の帰りにでも採ればいやと思ってしまったのです。ところが日曜の夜からやや強い雨が降り、ヒカリモはすっかり消えてしまいました。ヒカリモについてはよく分かっていないことも多く、今回顕微鏡観察してないので、ヒカリモであることはほぼ間違いないものの、これまで見つかった種類なのか特定することができなかったのです。晴天が何日か続くと再び現れることも多いようでその日を待っていますが、逃したチャンスを捕まえることの難しさを思い知らされました。また現れたら今度こそ検鏡し、続報を出しますね。

【理科支援員・宮内】